



水辺の安全教室

in 太田川 (太田川水系三篠川 かこがわ水辺の楽校)

太田川河川事務所では、河川水難事故防止に関する啓発活動の一つとして「水辺の安全教室」を毎年実施しています。

この取り組みは、川での体験活動を通して、川の面白さや豊かさとともに川の特長や危険を察知する感覚を身につけ、川を利用する際の安全意識を向上させることを目的としています。



川での体験活動の紹介

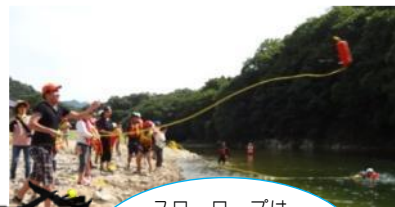
毎年たくさん子どもたちとその保護者が
川とふれあう楽しさを体験しています。

1 楽しく遊ぶ為に 安全を考える

川の危ない場所や、ライフジャケットの役割やつけ方、川で流されるときに安全な姿勢等を学習します。また保護者と一緒に、スローロープによる救助方法を学びます。



ライフジャケットは着ている人を水に浮かせる救命用具だよ。頭が水面の上に出るように正しく着よう。



スローロープは溺れている人や流されている人を助けるためのロープなんだ。

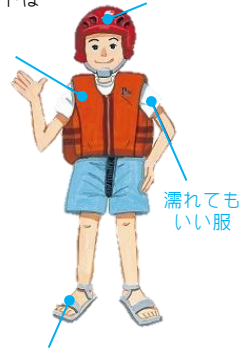


水辺で活動するときの服装

※ライフジャケットとヘルメットは当日貸し出します。

ライフジャケットはもしもの時に備えて必ず着用する

大事な頭を守るヘルメット



濡れてもいい服

濡れてもいい運動靴やかかどがしっかり固定できて脱げないサンダル

2 川で浮いてみよう！

水に慣れるために、流れの無い場所で、川で流されるときに安全な姿勢（ディフェンシブポジション）の練習を行います。また、ペットボトルやビニール袋など、身近なものを使って川に浮く方法やライフジャケットを着けていない時に水に浮く方法を体験し、万が一の時に身を守る方法を学習します。



3 川の流れ冒険

ディフェンシブポジションで、実際に川を流れたり、川を泳いで渡る体験をします。子どもたちはこの体験を通して、川での安全な姿勢やライフジャケットの効果を実感するとともに、川の楽しさを感じます。



みんなとっても
楽しそうだな～



4 川遊び

すっかり川に慣れ親しんだ子どもたちは、浮くものにつかまって流されたり、岩の上から飛び込んだり、川の生き物をつかまえたりと、思い思いの川遊びを目一杯楽しみます。

水辺の安全教室での 体験学習の効果

最初はおそるおそる川に入っていく子どもたちですが、体験活動を通して川での危険と身の安全を守る方法を学習するとともに、川の楽しさを知り、最後には積極的に川に親しんでいくようになります。



短い時間でこんなに成長した子どもたち

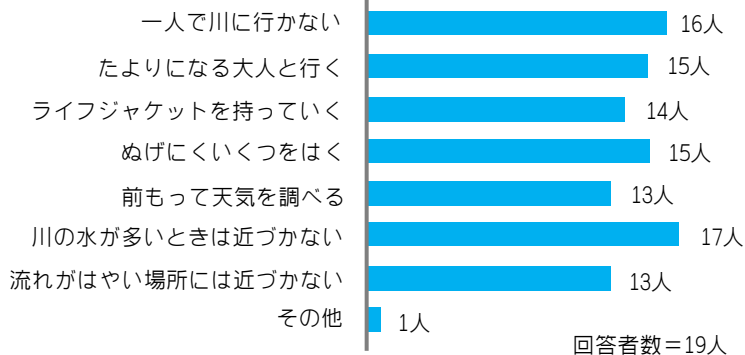


子どもたちは学習したことを、楽しみながら積極的に試していきます。自ら体験して学んだことなので、自然と身につきます。

河川水難事故防止の 啓発効果

講座終了後のアンケートでも、参加した子どもたちの回答率は高く、河川水難事故防止の啓発効果が見られました。

Q. 川で遊ぶときの約束はなんですか？



参加者の声



子どもたちの声

- ・また川でいっぱい泳ぎたい！
- ・水の大切さを知ることができた。
- ・学校では川遊びができないので、ふだんできない貴重な体験ができた。
- ・これからはライフジャケットを着て、安全に川あそびしたい。

保護者の声

- ・楽しみながら学べるので、子どもにとってもよい経験だった。
- ・なかなか川へ連れていく機会がないので、よい体験だった。
- ・ふだんの川遊びではわからなかった川の危険さを経験できてよかった。



お問い合わせ先



国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所 管理第一課

電話:082-222-9248 FAX:082-223-1885